



インターネットでの情報提供	
提供予定日	10月20日

平成22年10月19日(火) 県政記者クラブ配付資料		
担当課	担当	電話番号
少子化対策課	課長補佐 永瀬久敬 主 査 酒井弘貴	直通058-272-8077 内線2682

若者の県外流出抑制に向けた意識調査結果の概要について

本県の少子化の要因の一つである県外流出を抑制するため、岐阜県及び愛知県在住者を対象に実施した意識調査結果の概要がまとまりましたので、お知らせします。

1 調査の目的

本県の少子化の要因の一つである若者の県外流出については、これまで歯止めをかけるための施策を打ち出せていないことから、岐阜県在住者と本県出身の愛知県在住者を対象に転出入の意向を中心とした意識調査を実施することにより、本県の暮らしやすさに関する「強み」、「弱み」や若者の転出入の意向を把握し、平成23年度以降の施策に活用する。

2 調査の方法

- 調査対象者・・・岐阜県在住者及び本県出身の愛知県在住者（出身ではないが、岐阜県での居住経験があるものを含む）の未婚者及び既婚者
- 調査手法・・・インターネットアンケート
- 調査対象者数・・・2,100名（有効回答率 100%）

岐阜県在住未婚者、既婚者	各400名
愛知県在住未婚者、既婚者	各650名

3 調査の項目

調査項目	調査対象者
○現住所について	
現在の住所を決めた際に何を重視したか	全員
現住所の満足度(11項目について5段階評価)	〃
○岐阜県の暮らしやすさについて	
岐阜県を住みやすい場所と思うか	岐阜県未婚者・既婚者のみ
岐阜県の住みやすさの理由は何か	〃
岐阜県の住みにくさの理由は何か	〃
岐阜県についてのイメージ(7項目について5段階評価)	愛知県未婚者・既婚者のみ
岐阜県で子育てするうえで何が魅力的か	全員
○岐阜県外への転出・岐阜県への転入について	
岐阜県外への転出経験の有無	岐阜県未婚者・既婚者のみ
岐阜県を離れた理由・戻った理由	〃
今後、岐阜県外に転出する意向(可能性)の有無	〃
岐阜県外に転出しないとした理由	〃

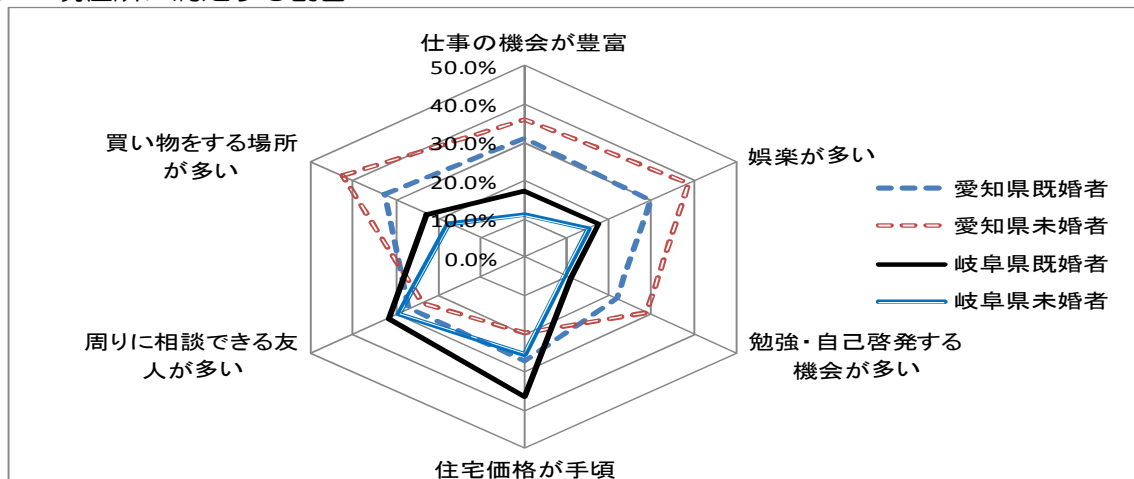
岐阜県から転出した時期	愛知県未婚者・既婚者のみ
岐阜県から転出した理由	〃
岐阜県に戻る意向(可能性)の有無	〃
岐阜県に戻るとした理由	愛知県未婚者・既婚者のみ
岐阜県に戻らないとした理由	〃
岐阜県に戻ることを検討する際の判断材料	〃
今後、30～40歳代で主に住むことを予定している場所	岐阜県未婚者・既婚者のみ
将来、30～40歳代で住まいとする市区町村を選ぶ際に何を重視するか	〃
○行政の施策について	
岐阜県が独自に取り組んでいる少子化対策の認知度	岐阜県未婚者・既婚者のみ
岐阜県が独自に取り組んでいる少子化対策の評価	〃
岐阜県にとどまるために行政に何を望むか	〃
岐阜県に戻るとした場合に行政に何を望むか	愛知県未婚者・既婚者のみ
○三世代同居について	
機会があれば自分の親との三世代同居を望むか	全員
機会があれば配偶者の親との三世代同居を望むか	〃
三世代同居をする場合に何が障害になるか	〃
三世代同居を望む人に対する行政の支援についての賛否	〃

4 調査結果の概要

○現住所について

現住所の満足度が高いものは、岐阜県在住者が「住宅価格が手頃」、「周りに相談できる友人が多い」で、愛知県在住者は「仕事の機会が豊富」、「娯楽が多い」、「勉強・自己啓発する機会が多い」、「買い物をする場所が多い」であった。
 ※「職場へのアクセス」、「落ち着ける場所がある」、「物価の安さ」、「子育て環境」、「賃貸住宅」については、両県の回答者の満足度に差はみられない。

図 1 : 現住所に満足する割合

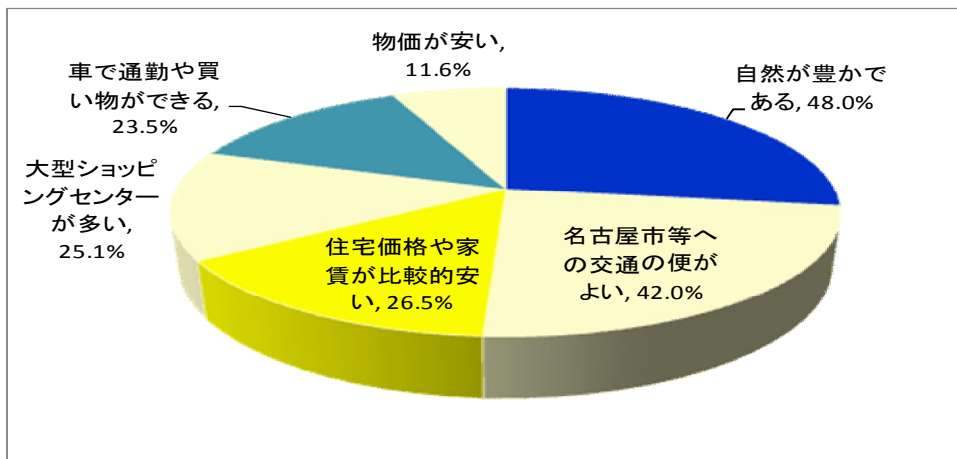


○岐阜県の暮らしやすさについて

【岐阜県が住みやすい理由】

岐阜県在住者の約7割が、岐阜県は住みやすいと評価。
住みやすい理由としては、「自然が豊か」が最も多く、「大型ショッピングセンターが多い」、「車で通勤や買い物ができる」よりも、「名古屋等への交通の便が良い」の評価が高いのが特徴。

図2：岐阜県が住みやすい理由（岐阜県在住者 未婚者・既婚者計 複数回答）

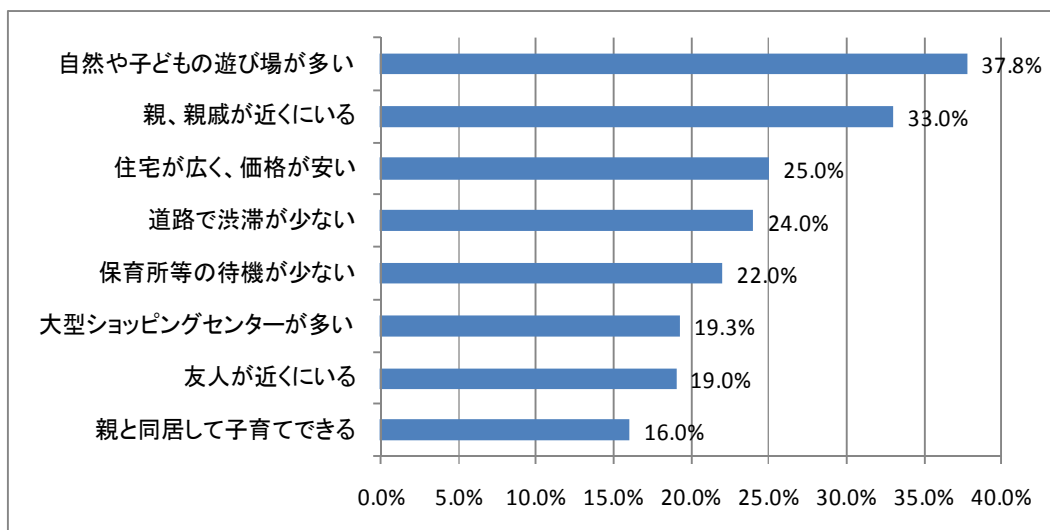


【岐阜県の子育て環境の魅力】

岐阜県の子育て環境として魅力的な点は、「自然や子どもの遊び場が多い」が最も多く、次に、「親・親戚が近くにいる」、「住宅が広く、価格が安い」が続く。

「親・親戚が近くにいる」に比べ、「親と同居して子育てできる」の割合は半減し、子育てに親や親戚の支援を頼りにするものの、同居はあまり望まれていない。

図3：岐阜県の子育て環境の魅力（岐阜県在住既婚者）



○岐阜県外への転出について

【岐阜県から転出する意向及び理由】

県外への転出意向が強いのは未婚者で、約6割が「転出することが考えられる」と回答している。逆に、既婚者の約7割は「転出の意向はない」又は「特に考えていない」と回答しており、転出の意向は弱い。

県外への転出意向が比較的強い20歳から34歳までの転出理由としては、男性は仕事、女性は結婚が多い。

図4：岐阜県在住者が県外へ転出する意向

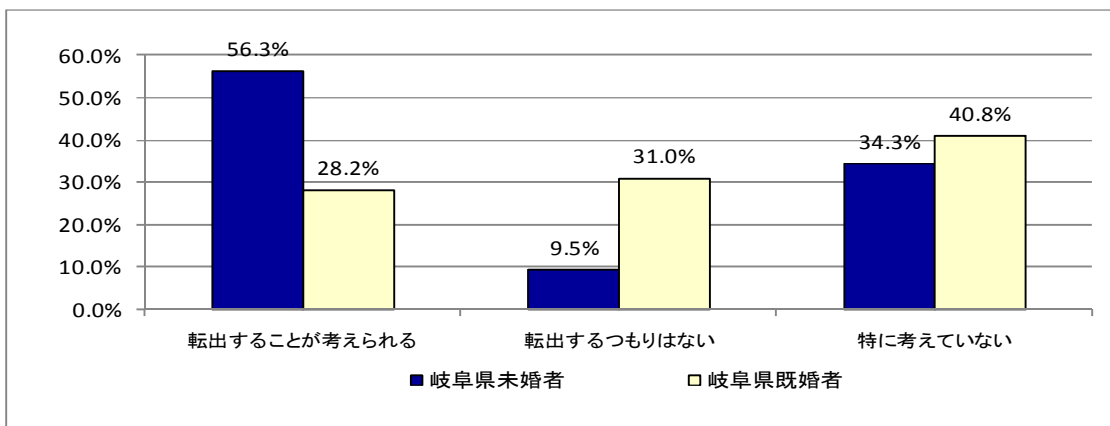
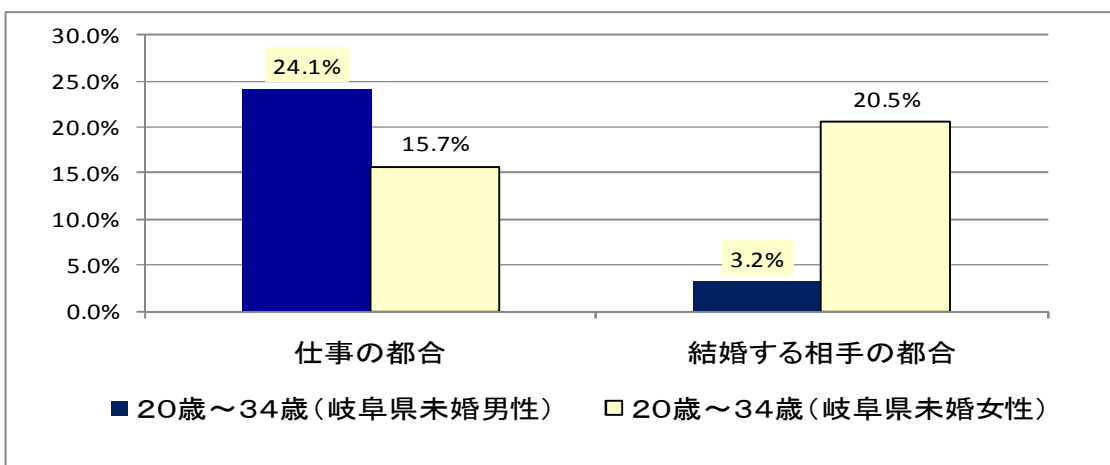


図5：岐阜県在住者が県外へ転出する理由（一部抜粋）



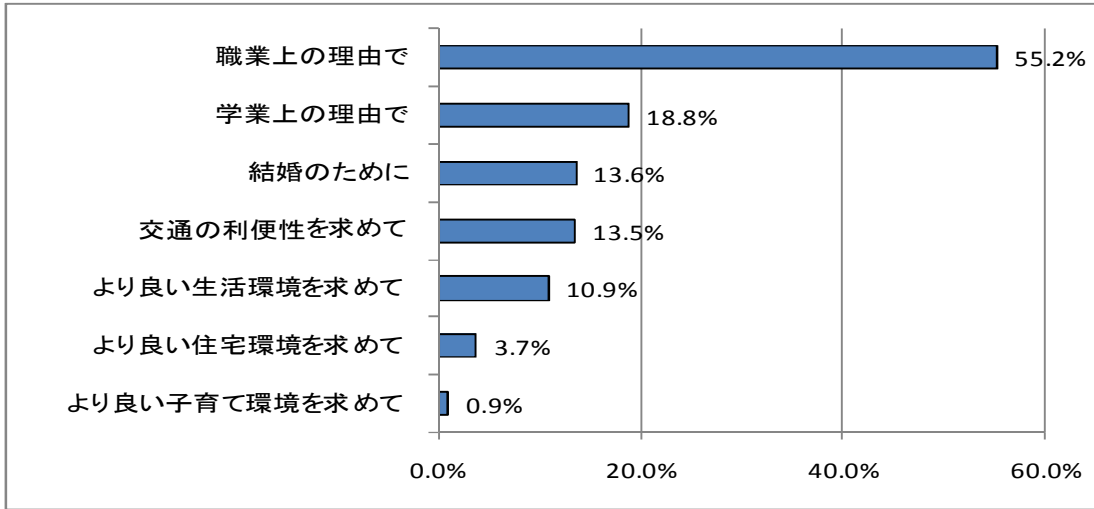
○岐阜県への転入について

【岐阜県から転出した理由】

県外に転出した理由として、就職や転職などの「職業上の理由」が最も多く、次に大学進学など「学業上の理由」が多い。

それ以外では「より良い生活環境を求めて」、「交通の利便性を求めて」が比較的高く、都会的な生活に憧れて、転出していく傾向がある。

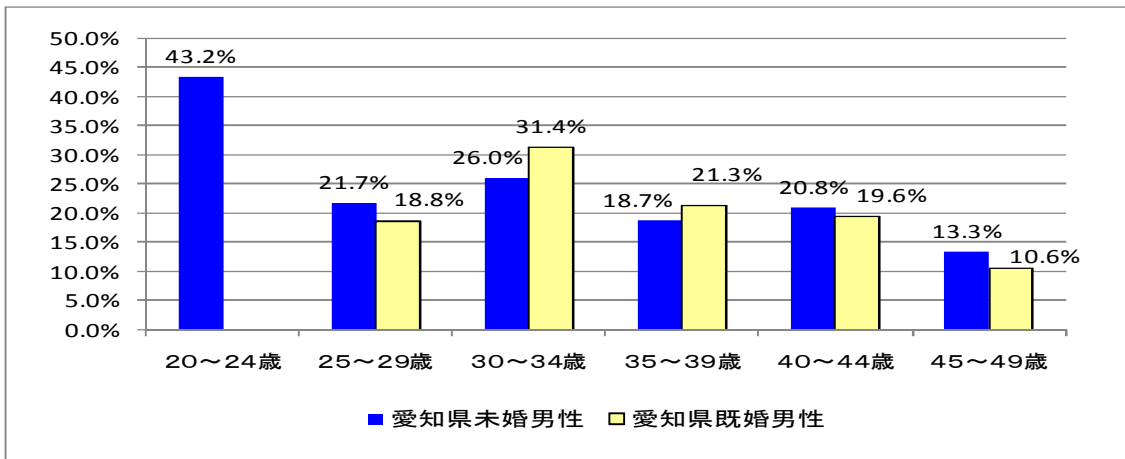
図6：愛知県在住者が岐阜県から転出した理由（複数回答）



【愛知県から岐阜県への転入意向】

岐阜県に戻る意向が強いのは、20代前半の未婚男性及び30代前半の既婚男性。

図7：愛知県在住者の岐阜県への転入意向



【岐阜県に戻りたい理由】

岐阜県に戻りたい理由は「自然が豊か」が最も多く、「住宅が安く購入できる」、「物価が安い」、「親の看病・介護が必要」が続く。

戻る判断材料としては、「配偶者の意思」や「収入や良い条件の仕事がある」が多い。

図8：愛知県在住者が岐阜県へ戻りたい理由（複数回答）

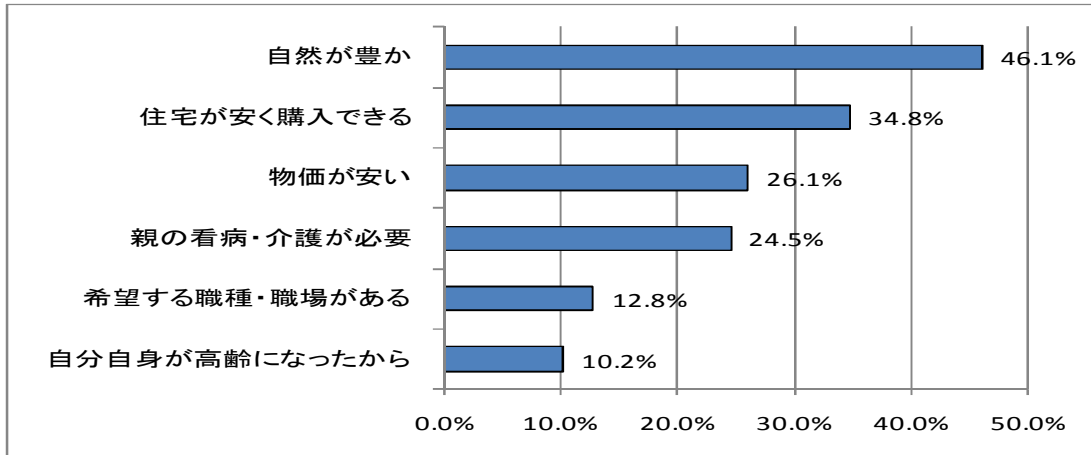
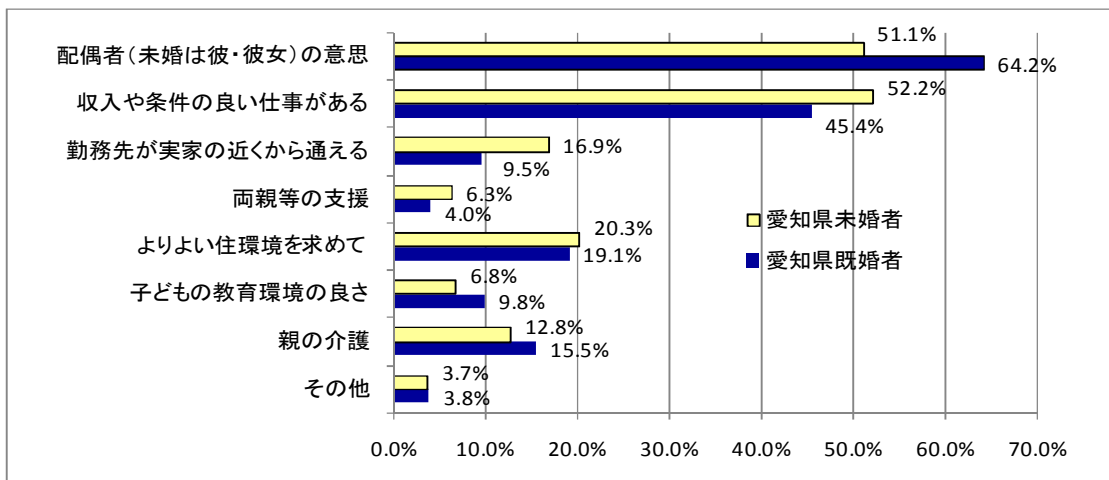


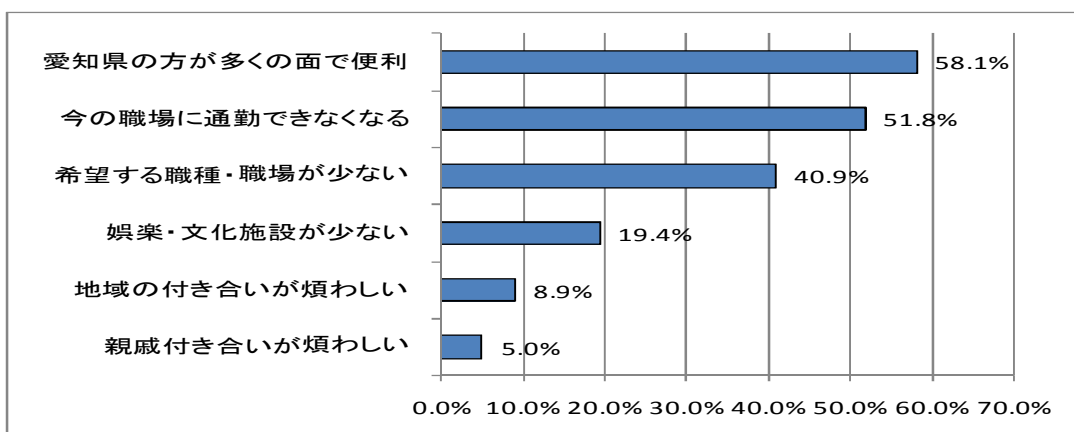
図9：岐阜県へ戻る際の判断材料（複数回答）



【岐阜県に戻りたくない理由】

岐阜に戻りたくない理由は「愛知県の方が多くの面で便利」が最も多く、「今の職場に通勤できなくなる」、「希望する職種・職場が少ない」が続く。

図10：岐阜県に戻りたくない理由（複数回答）



○行政への要望

【岐阜県在住者が岐阜県にとどまるための行政への要望】

既婚者が岐阜にとどまるために行政に望むものは、「子育てに関する経済的支援」が最も多く、「小児医療体制整備など子どもの健康支援」が続く。一方、未婚者は、「雇用の場の確保」が最も多く、「通勤の利便性の向上」が続く。

図 11 : 岐阜県既婚者が岐阜県にとどまるために行政に望むもの（複数回答）

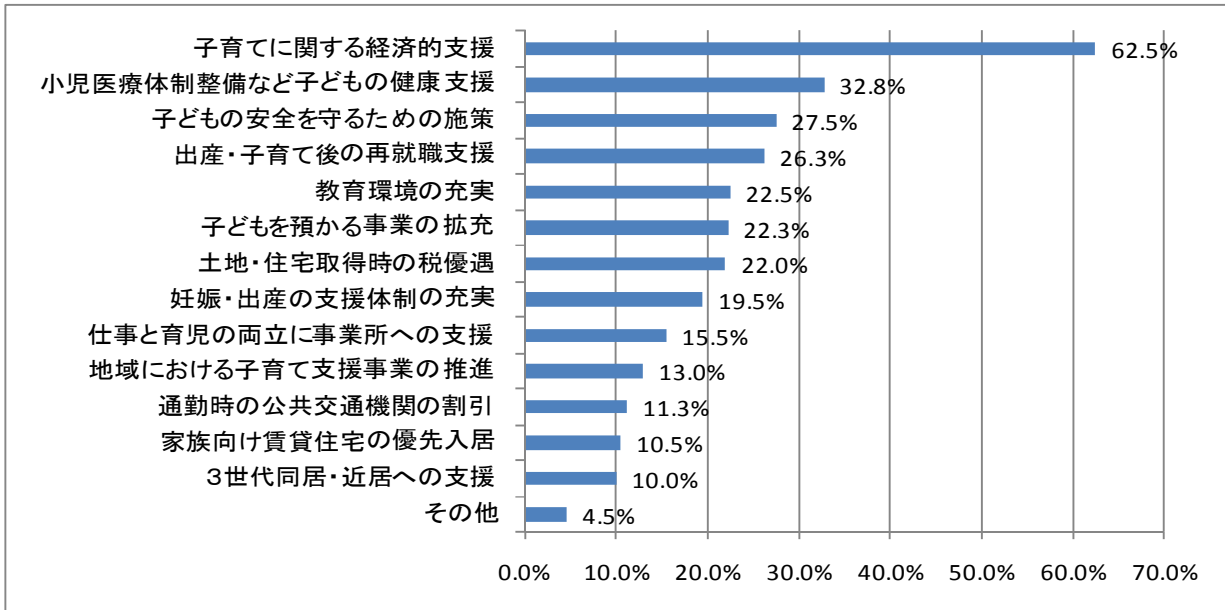
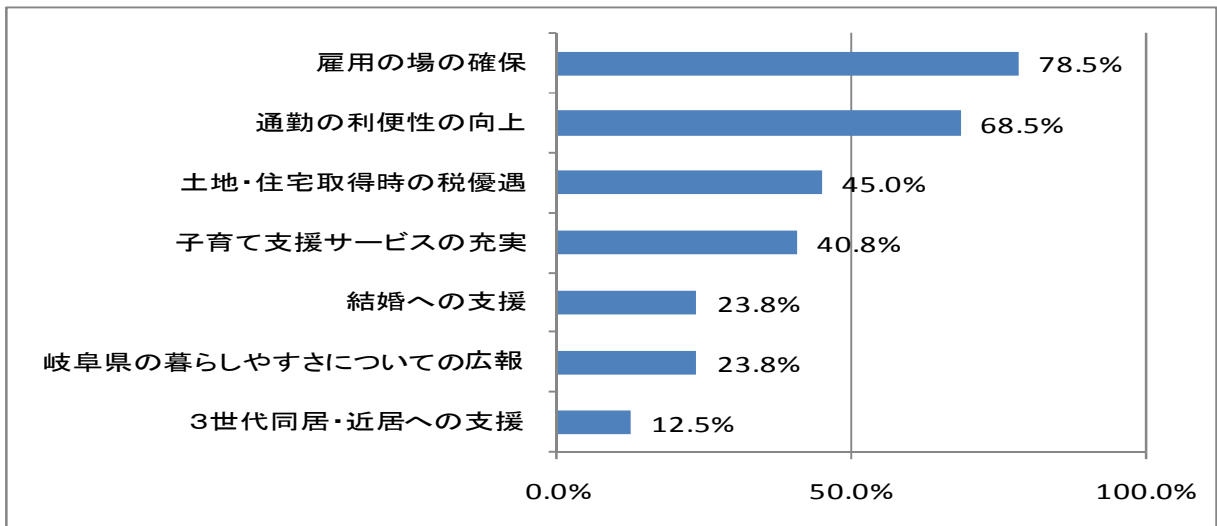


図 12 : 岐阜県未婚者が岐阜県にとどまるために行政に望むもの（複数回答）

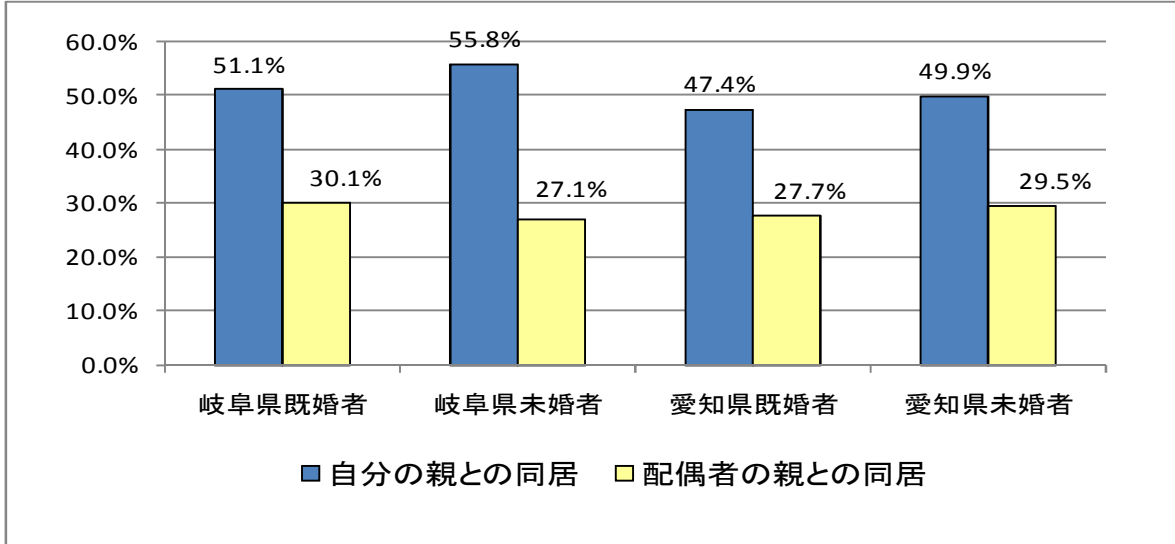


○三世代同居に対する考え

【三世代同居を望むか】

自分の親との同居を望む割合は概ね5割程度であるが、配偶者の親との同居になると望むものの割合は3割以下になる。

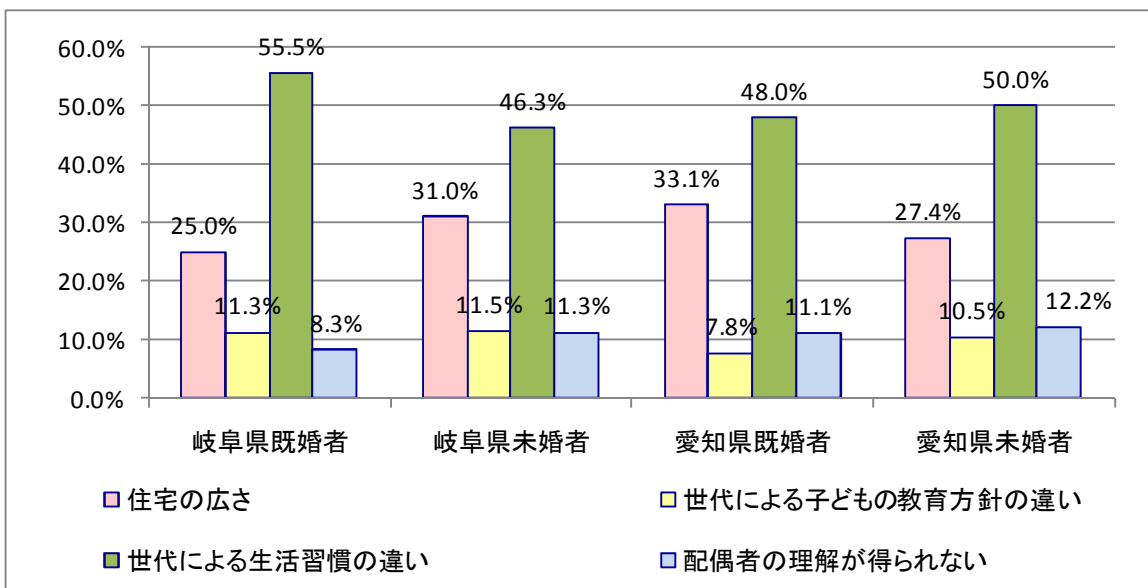
図 13 : 三世代同居を望む者の割合



【三世代同居の障害】

三世代同居の障害として考えられているのは、「世代による生活習慣の違い」が最も多い。

図 14 : 三世代同居の障害になるもの（複数回答）



○分析結果

以上のような調査結果から、岐阜県の強み・弱みに関する傾向や、岐阜県在住者の転出意向、愛知県在住者の転入意向が以下のとおりとなった。

岐阜県の強み	自然が豊か、住宅価格が手頃、名古屋等へのアクセスが便利、三世代同居・近居が多い
岐阜県の弱み	希望する職種・職場が少ない、娯楽が少ない
岐阜県在住者の転出意向	強いのは未婚者で、理由は男性が仕事、女性は結婚
愛知県在住者の転入意向	大学生などはUターン就職の希望が多い 30代前半の男性は子育てや住宅取得で転入意向が強い 転入の際には、配偶者の理解が必要
三世代同居の評価	自分の親との同居は希望するが、配偶者の親との同居には消極的

5 調査結果の施策への反映

施策①：就職先として魅力的な岐阜県内の企業のPR

■目指すもの

- 岐阜県在住者 → 県内就職の促進
- 愛知県在住者 → 就職をきっかけとしたUターンの促進

施策②：岐阜県の暮らしやすさ（強み）のPR

■目指すもの

- 岐阜県在住者 → 一旦県外に出ても将来戻ってきたいと思う意識の醸成
- 愛知県在住者 → より良い子育て環境を求めたり、住宅取得をきっかけとしたUターンの促進

「岐阜県に住んで名古屋等へ通勤・通学するライフスタイル」の提案